

海軍省

供覽

軍務局

教育本部

秘

海

海軍省

司員

出

練習艦隊要誌

其二

自八月十九日(縣洞出發當日)至九月十六日(横須賀入港當日)

内田

海軍省

小教

10-22

0439

練習艦隊要誌

目次

一、練習艦隊行動
二、航海中遭遇潮流及氣象

三、儀制
空電

特別ナル禮式
禮砲

四、出會ニ外國軍艦
五、標準時ノ變更
六、火藥庫ノ溫度
七、發射火藥ノ棄却
八、候補生室ノ溫度
九、候補生ノ健康狀態
十、見學

十一、教育審員施
十二、各寄港地に於ての歡迎
十三、見聞事項

- 一、英艦、滿船飾法
- 二、回轉教、ヨル速力測定
- 三、假設陸上無線電信所、設置
附小型無線電信機、必要

0441

一、練習艦隊行動

八月十九日縣洞出港後九月十六日橫須賀入港ニ至テ追練
習艦隊行動左如シ

地名	著月日時	發月日時	航程(哩)
縣洞		八月十九日午前十一時	六三、四
竹敷	八月十九日午後七時	八月二十日午後五時五分	一〇、五、一
佐世保	八月廿日午前六時五分	八月廿四日午前十一時	四、五、八
長崎	八月廿四日午後五時	八月二十七日 正午	四、二、〇、〇
舞鶴	八月廿九日午前十一時	八月三十日午後六時	四、八、五、四
大湊	九月一日午後九時五分	九月四日午後七時五分	一、一、六、〇
室蘭	九月五日午前七時五分	九月五日午後五時	六、七、一、五
津	九月九日午前十一時	九月十五日午前九時	一、九、一、〇
橫須賀	九月十六日午前九時		

二、航海中遭遇之流潮及氣象

海流
九月七日前九時十分頃磐城國塩屋崎ノ北東約三十哩ノ地莫



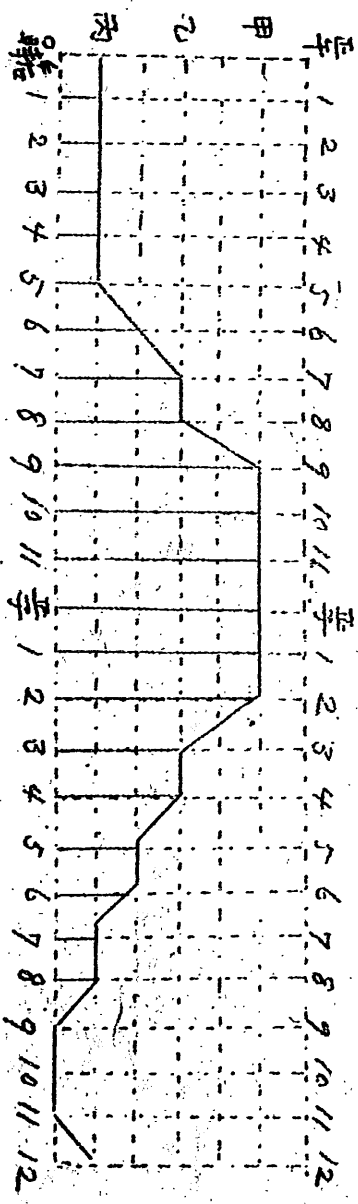
ニ於テ南西ヨリ北東ニ向テ海流帯ニ入リ

空電

一、佐世保近海於テ日中微弱ト空電ヲトモ受信ニ差支ナシ午後六時頃ヨリ漸次強勢ヨリ大抵九時頃ヨリ午前一時頃迄ノ間最モ強ク其ヨリ漸次減退シテ午前六時頃ニ極微弱トナラ通

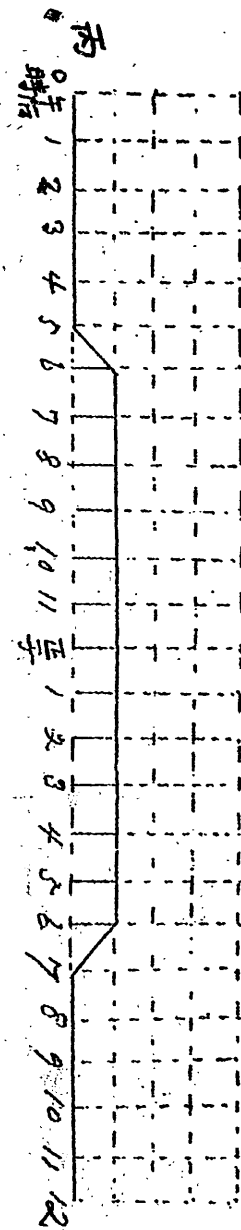
例トス

今空電調査例ニ従ヒ其種類ヲ甲乙丙ニ分テハ發生ノ狀況大凡尤如シ



二、舞鶴以北北海道ニ至ル間九州方面ニ比シ空電強ク昼夜別ナク連續發生シ時々雷鳴ヲ加フ當時天候ニ陰悪ナリヲ以テ或ハ一時的ノ現象ナラヤモ許リ難シ

三、大湊及室蘭等北海方面、空電至テ微弱ニテ而モ午後六時頃ヨリ午前六時頃止ノ間僅ニ三種ノ空電凡クナリ



四、津方面於テ殆ト連続空電ノ感忘ルモ極ク微弱ナリ

三、儀制

特別礼式

(一) 長崎ニ於ケル清国載洵殿下ノ奉迎送

清国載洵殿下軍率御視察ノ為ノ日本及米國ニ御渡来ノ下、ナリ先ツ米國ニ御渡航、途次御乗船長崎ニ寄港シ殿下ノ地ヨリ御微行ニテ御上陸長崎ニ菱造船所、神戸川崎造船所、三菱造船所等ヲ御視察上横濱ヨリ再ビ御乗船ノ御豫定存當隊ノ殿下奉迎送ノ為メ長崎西船スルノ下、ナリ八月二十四日長崎ニ入港セリ

八月二十六日午前五時五十分御乗船「マンチユリヤ」港口ニ近キタリノ報ニ接シ

滿艦飾ヲ夫在泊中ノ英艦ヲシテアラウクリチシ其他高船皆之倣
フ御乗船一時女神信號所附近ニ投錨シ午前八時前ニ至リ後
錨港内ニ近ケリ茲於テ我軍艦海軍敬禮式第六十三條ノ敬禮ヲ行ヒ
皇禮砲ヲ發ス英艦モ亦皇禮砲ヲ發セリ八時八分御乗船一番浮標
ニ繫留ス八時四十五分司令官幕僚各艦長御乗船ニ至リ殿下ニ伺
候ス九時殿下御上陸ニ際シ各艦ハ六時半ノ敬禮ヲ行ヒ司令官幕僚
艦長汽艇ニテ扈從ス當日殿下御上陸後御疲勞ヲ為シ造船所
御視察ノ下ナク又夕刻迎陽亭ニ於テ晚餐會ニ御臨席ナリ
以テ白令ニ午後ノ敬禮ハ行フ機ニ當セザリシ此ヲ以テ殿下佐世保ヨリ
來著者迎セラル出羽佐世保鎮守府司令官並ニ練習艦隊司令
官ト懇話ノ期ナキヲ遺憾トシ午後六時區々特ニ長官司長官ヲ召
サシテ種々御物語リアリリ日没時滿艦飾ヲ撤ス
之ヨリ先帝御乗船入港後向モナリ英艦トシテ入港ニ國旗ヲ對スル
禮砲並ニ將旗ヲ對シ礼砲ヲ發シ各艦規定ノ答砲ヲ行フ全艦繫留
後當面我艦隊ニテ行フ儀式ノ狀況ヲ通知セシニ全艦滿艦飾ヲ行
ヒ次テ清國皇旗ヲ對シ廿二發ノ礼砲ヲ發セリ
八月二十七日午前八時滿艦飾ヲ行フ在泊中ノ英國軍艦並ニ内外國商
船之倣テ殿下泊日早朝造船所ヲ御進見アリ午前九時四十分
百五十噸起重機下ノ棧橋ヨリ浅間水雷艦ニ召サレ海路御通過際

我軍艦隊第一艦隊、敬礼ヲ行フ司令官幕僚艦長以下艦務ニ差支ナキ
次第以上ノ士官、停車場ニ奉送ス十時三十分御發車ト同時、第六
士乗ノ敬礼並ニ皇礼砲ヲ發シ、今三十分旗信ヲ滿艦飾ヲ撤ス

附記

御乗船入港並ニ御乗車發車ノ時期ヲ知ラカ為ノ豫メ港務部ニ
交渉シ御入港トキニ女神信號所御發車時女神信號所ト港務部
旗竿トニ掲ク規定セル特約信號ニ頼ル便宜ヲ得タリ
又佐世保出及及ニ先々佐世保鎮守府ヨリ借用シ淺間ニ乗艦セシタル
軍樂隊ニ御入港當時儀式ヲ莊嚴ニシ又御上陸后御旅館タル
占勝閣ニ遣リ御旅情ヲ慰ムルニ供テカマリタリト信ス

(二)

大湊ニ於テ博恭王殿下ノ奉送
豫テ第一艦隊戰術射撃御視察ノ為メ御差遣中、博恭王殿下
ハ連日射撃ノ實況ヲ御視察アリ九月二日ヲ以テ最終ノ編隊射
撃ヲモ結了セルガ故ニ今三日御乗船滿洲ヲ御帰途ニ就セルルコ
トナリタルヲ以テ當日第一艦隊司令長官ノ定メタル奉送次
第二從ヒ午前九時四十分滿艦飾ヲ撤シ午前十時滿洲皇族
旗ノ掲揚セラレヤ司令官幕僚艦長ノ御乗艦ニ奉伺ス
午前十時滿洲出港ス水雷戰隊旗艦利根先導シ駆逐隊ニ隊宛

禮砲

月日	場所	発礼者	受礼者	礼砲数	答砲数	記
八月十九日	竹敷	八代司令官	竹敷出陣中將 竹敷出陣中將	一五	一三	以港際將旗之対に施行也
八月廿一日	佐世保	全	佐世保出陣中將 佐世保出陣中將	一五	一三	全
八月廿四日	長崎	英艦ケ下	八代司令官	一三	一三	全
八月廿五日	全	最上吉田中佐	全	一三	七	吉田中佐臨時最上機長トシ 以港際將旗之対に施行也
八月廿六日	全	英艦ケ下	清國海軍下	皇礼砲		旗之掲げ御入港存 以港際將旗之対に施行也
全	全	英艦ケ下		二一	二一	

(三) 智利大統領薨去ニ付半旗ノ禮
 八月二十日竹敷出港后竹敷信路所ヨリ在ノ電ニ接ス
 本日在ノ電ニ接ス(海軍大臣ヨリ)
 智利國大統領薨去ニ付本日ヨリ三日間半旗ノ吊礼ヲ行フ
 依テ廿二日佐世保碇泊中半旗ノ吊礼ヲ施行セリ

左右分々御乗艦ノ斜後ニ隨從護衛ヲテ艦進ス在洵ノ各艦
 八箇至三箇ノ敬礼並ニ皇礼砲ヲ行フ全四十五分御乗艦港外ニ
 出名ニヨリ第一艦隊ニ倣ヒ旗信ニヨリ滿艦飾ヲ撤ス

四. 出會七外國軍艦

月日	場所	艦名	艦長	名	記事	
八月廿六日	長崎	英艦ミズメ	八代司令官	一三	一三	本艦七月廿六日威海衛沖に於て礼砲ヲ射シ故一年間再々之ヲ行ハズモ可ク禮砲ヲ再々射スルニセリ
八月廿七日	長崎	浅間(日取上) 笠置	清國 載洵殿下	皇礼砲	一三	載洵殿下陸路御出立存
八月廿九日	舞鶴	八代司令官	舞鶴守府 宇田中将	一五	一三	入港際將程ヲ計シ施行セリ
九月二日	大湊沖	八代司令官	舞鶴守府 宇田中将	一五	一三	前夜入港セリ今午本艦旗ヲ揚ゲ直ニ施行セリ
全	大湊	千歲 金屋大佐	八代司令官	一三	七	大湊入港際ニ在り中ノ午歳ヲ礼砲シセリ
全	大湊	浅間	大湊要港部 上泉少将	一三		該内ノ為ニ年礼砲ヲ其日禮砲ニ施行セリ
九月三日	大湊	淺間 笠置	博恭王殿下 八代司令官	皇礼砲		博恭王殿下海州より御來艦并ニ在港ニ在り禮砲ヲ射スルニ及テ法上禮砲ニ施行セリ
九月十六日	觀音崎沖	鎮西 秀島大佐	八代司令官	一三	七	
全	横須賀	八代司令官	横須賀鎮西 佐藤中将	一五	一三	入港際施行セリ

月日	場所	艦名	艦長	名	記事
八月廿四日	長崎	英艦ト	前哨詰ニ記載如シ		
全					

八月廿五日	全	英船 E.M.S.	右 全	英船 E.M.S.	左 全
八月廿六日	長崎	英船 E.M.S.	右 全	英船 E.M.S.	左 全

五、標準時、変更

一、八月十九日午後一時（縣洞出港、當日）中央標準時、変更

六、火藥庫、温度

本航海中火藥庫、最高温度、右表、如シ

0449

浅間

爆 薬 庫	火 庫		爆 發 庫	后 部 頭 部 庫	前 部 頭 部 庫	艦 首 頭 部 庫	二 所 半	小 銃	三 寸		六 寸		八 寸		甲 板 温 度 取 扱 高	日 附	所 在 地
	后 部	前 部							后 部	前 部	后 部	前 部	后 部	前 部			
91	91	91	89	90	82	86	84	85	82	90	85	84	81	80	820	敷 竹	
96	92	94	88	96	82	87	86	86	84	93	85	84	82	84	21	保 世 佐	
97	94	96	86	97	82	90	88	87	86	93	87	86	84	87	22		
96	94	93	86	96	82	89	88	87	84	93	86	85	84	84	23		
97	93	94	85	97	81	89	88	87	84	93	87	85	84	86	24		
93	93	92	86	93	81	90	89	89	86	93	87	85	84	86	25	崎 長	
92	95	90	89	92	82	90	88	89	88	95	87	86	85	86	26		
99	95	91	88	94	83	90	90	89	88	95	88	86	85	85	27	中 海 航	
98	94	94	89	98	83	92	90	89	86	97	88	85	85	85	28		
98	95	95	90	98	82	93	90	89	86	99	88	85	85	86	29	鶴 舞	
94	94	96	88	95	83	93	90	89	86	97	88	85	84	86	30		
97	94	95	87	98	83	93	90	87	84	97	88	85	84	81	31	中 海 航	
94	91	91	84	94	81	93	89	87	84	95	87	83	83	75	97		
90	90	90	84	90	80	91	86	84	82	91	85	82	81	74	2	大 湊	
88	88	87	87	88	77	84	84	81	80	89	83	78	80	69	3		
88	86	87	84	88	77	84	82	80	78	86	82	76	78	69	4		
89	86	87	86	89	77	83	82	78	77	87	80	75	78	70	5		室 蘭
89	85	84	77	89	77	82	81	78	77	85	79	75	86	70	6	中 海 航	
90	87	88	80	90	78	84	82	80	77	86	80	77	75	75	7		
80	89	93	82	89	79	88	84	81	79	89	81	78	77	74	8		
94	92	92	91	94	78	90	85	86	81	94	84	84	79	74	9		
93	90	92	92	93	79	90	86	87	81	93	84	84	80	78	10	津	
94	93	92	88	94	76	91	84	87	82	93	83	83	80	81	11		
93	91	90	90	93	77	90	84	87	81	90	84	83	80	75	12		
89	88	88	89	89	78	89	85	87	82	90	83	83	80	70	13		
88	89	87	89	88	78	84	82	84	81	88	82	82	79	70	14	中 海 航	
87	90	86	86	87	76	82	84	85	81	88	82	82	79	72	15		
90	90	88	84	90	76	82	80	84	81	88	81	82	78	69	16	横 須 賀	

0450

備考	有煙火庫	三吋		四吋七		八吋		甲板温度最高	日附	所在地
		后部	前部	后部	前部	后部	前部			
三有煙火庫 二名火庫 一后部火庫 共毎日送 貯藏世衣 有セズ 格納ス	82	82	82	91	81	84	81	80	8-20	敷
	82	84	81	93	82	84	81	83	21	保
	81	84	82	92	82	84	83	81	22	
	82	84	82	92	82	84	83	80	23	
	82	84	84	92	83	84	84	83	24	崎長
	82	84	84	92	84	85	84	86	25	
	84	84	84	93	84	85	84	88	26	中海航
	84	84	84	95	84	84	84	83	27	
	83	86	83	95	84	86	84	83	28	鶴舞
	84	86	83	96	84	88	84	89	29	
	84	86	84	94	84	87	84	83	30	中海航
	83	86	83	95	84	86	84	79	31	
	82	84	80	94	82	84	82	74	5-1	大
	80	81	79	90	81	81	77	73	2	
	76	80	79	90	81	81	77	69	3	蘭空
	73	76	76	84	78	76	75	69	4	
73	78	75	85	77	76	75	68	5	中海航	
69	78	72	84	74	78	73	67	6		
74	77	73	88	74	79	73	73	7	津	
75	80	76	90	75	83	75	73	8		
78	84	77	92	77	85	77	74	9		
79	84	80	91	77	84	79	77	10		
77	84	80	91	81	85	81	78	11		
77	85	80	93	81	85	81	79	12		
77	83	80	93	81	81	79	69	13	中海航	
77	79	77	90	79	79	77	69	14		
79	80	78	88	79	80	77	68	15		
81	79	77	90	79	81	77	66	16	横須	

笠置

備考
一后部六吋火庫 二后部三吋半彈庫 三前部下瀨袋全庫 四前部全庫 五前部全庫 六前部全庫 七前部全庫 八前部全庫 九前部全庫 十前部全庫 十一前部全庫 十二前部全庫 十三前部全庫 十四前部全庫 十五前部全庫 十六前部全庫 十七前部全庫 十八前部全庫 十九前部全庫 二十前部全庫 二十一前部全庫 二十二前部全庫 二十三前部全庫 二十四前部全庫 二十五前部全庫 二十六前部全庫 二十七前部全庫 二十八前部全庫 二十九前部全庫 三十前部全庫 三十一前部全庫 三十二前部全庫 三十三前部全庫 三十四前部全庫 三十五前部全庫 三十六前部全庫 三十七前部全庫 三十八前部全庫 三十九前部全庫 四十前部全庫 四十一前部全庫 四十二前部全庫 四十三前部全庫 四十四前部全庫 四十五前部全庫 四十六前部全庫 四十七前部全庫 四十八前部全庫 四十九前部全庫 五十前部全庫 五十一前部全庫 五十二前部全庫 五十三前部全庫 五十四前部全庫 五十五前部全庫 五十六前部全庫 五十七前部全庫 五十八前部全庫 五十九前部全庫 六十前部全庫 六十一前部全庫 六十二前部全庫 六十三前部全庫 六十四前部全庫 六十五前部全庫 六十六前部全庫 六十七前部全庫 六十八前部全庫 六十九前部全庫 七十前部全庫 七十一前部全庫 七十二前部全庫 七十三前部全庫 七十四前部全庫 七十五前部全庫 七十六前部全庫 七十七前部全庫 七十八前部全庫 七十九前部全庫 八十前部全庫 八十一前部全庫 八十二前部全庫 八十三前部全庫 八十四前部全庫 八十五前部全庫 八十六前部全庫 八十七前部全庫 八十八前部全庫 八十九前部全庫 九十前部全庫 九十一前部全庫 九十二前部全庫 九十三前部全庫 九十四前部全庫 九十五前部全庫 九十六前部全庫 九十七前部全庫 九十八前部全庫 九十九前部全庫 一百前部全庫

0451

七. 發射火藥ノ棄却

竹敷在泊中八月三日艦政本部長ヨリ九電ニ接ス
 十八尹水中發射管用發射火藥ハ危險ノ虞アルヲ以テ差掛リ必要ナル
 數ヲ残シ棄却処分ニ搭載分他ニ危害ヲ及ボサル適當ノ箇所ニ
 貯藏スルコトシ棄却數量通報アリシ代品追テ制定上供給ス
 依テ此旨各艦ニ通達シ淺向ニ於テ棄却処分ヲナセルノ尤加シ
 但シ笠置ノ發射管空氣發射尤シテ棄却処分ヲ支下キモ
 ノナシ

火工品ノ種類	發射火藥水中用	全	上
火工品ノ種類名稱	紐狀火藥	全	上
火藥ノ製造所名	吳二廠	全	上
火藥ノ製造年月	四十二年十一月	四十二年七月	
種目番號	口分		
裝填番號			
裝填年月	四十二年十一月	四十二年七月	
搭載年月日	四十二年五月二日	四十二年七月一日	
搭載數量	一三一	一一三	

六

0452

搭載位置	検査		最近検査年月
	成績	安定度	
		耐熱時間 銀場時間	
右部八吋火薬庫	不 明	平均 九、四	四十三年一月
全上	一〇五%	平均 八、八	四十三年六月

棄却火薬ニツキ浅間分隊長野原大尉、検査結果次、如シ
 薬囊、白地ハ黄色、斑点ヲ帯ビ又火薬外観ヲ檢スニ固有ノ色澤
 ヲ失ヒ數個氣泡ノ存在ヲ中心トシテ幾分カ黄色ヲ呈セリ而シテ火薬、兩
 端ハ白色ノ黴菌ヲ發生セリ又火薬ヲ折ルニ脆ク一般ニ不良ト認メタリ
 舞鶴工廠ヲ標本ヲ試験セシ耐熱七分以下ナルヲ確メタリ
 尚ホ念ノ為メ水上發射管用發射火薬ヲモ檢セシニ外観検査ニ於テ
 缺クル如ク良好ノ状態ニアルヲ以テ横須賀ニテ陸揚シ差支ナキモト
 認メ再ヒ艦内ニ格納スルコトセリ
 本火薬ハ舞鶴工廠ニテ試験ノ結果耐熱十五分以上ナルコトヲ確メ
 タリ

0453

八、候補生室内ノ温度

候補生室内ノ状況ニ関シテハ要誌其一二記載シ置キシガ尙其殆全室内温度ノ状況ハ表ニ示スガ如シ

置	笠		間		所在地	月日
	内機 温度	甲板 温度	内機 温度	甲板 温度		
	82	76	89	80	敦 竹	8-20
	86	84	91	85		21
	88	84	90	86	保 古 佐	22
	82	79	92	83		23
	86	84	92	87		24
	86	85	94	85	晴 長	25
	86	88	92	85		26
	86	86	94	89	中 海 航	27
	88	83	91	87		28
	88	88	92	89	鶴 舞	29
	86	86	91	83		30
	84	78	90	83	中 海 航	31
	80	71	88	76		7-1
	76	73	85	73	湊 大	2
	72	68	83	68		3
	74	72	83	72		4
	76	71	83	71	蘭 室	5
	74	69	79	70		6
	75	77	84	77	中 海 航	7
	80	78	88	79		8
	80	76	86	76		9
	80	79	87	79		10
	84	80	87	83	津	11
	80	75	89	77		12
	76	70	86	71		13
	74	70	85	70		14
	78	71	87	73	中 海 航	15
	74	69	85	71	賀 須 横	16

九、候補生ノ健康状態

以前ヨリノ病患者ノ状況左如シ

- 一、胸膜炎患者中川順吉(笠置乗組)ハ全治退院シ艦隊舞鶴入
- 二、慢性胃加答兒患者井澤徹(浅向乗組)ハ仁川碇泊中八月五日退

港ノ内富日八月廿九日帰艦セリ

艦内地に於て轉地療養中ナリ之が僅カ一月餘ノ日子ノ間ニ体量
二貫目ヲ増加シ別人ト思ハル位強健ノ体格トナリ横須賀入港當
日(九月十六日)既艦セリ

其後、患者ニテ入院又轉地療養等ヲナセルノ次、如シ

一、笠置乗組武石秀登八月十日頃ヨリ頭痛ヲ休業中ナリシが其
後前頭穴賣葛膿症ト診定シ八月二十三日福岡病院へ入院、為
ノ出及致セシノナリ

二、淺間乗組仲田貞ハ豫テ格魯布性扁桃腺炎ヲ患ヒ之が扁桃
腺炎ノ平癒セルニ及シ之ニ繼發セル軟口蓋麻痺ニヨリ著シキ鼻聲
ヲ生スルニ至リシヨリ之ガ療養ノ為メ大湊碓泊中九月二日退艦干
葉へ轉地セリ

三、笠置乗組園二郎ハ八月二十六日以来休業中ニ病名未定ナルモ
胸椎骨瘍ノ疑ハルモ、如シ

四、笠置乗組岩木喜一ハ九月一日以來左胸膜炎ニテ休業中ナリシ
が九月十六日横須賀海軍病院へ入院セリ

五、淺間乗組兵頭隆良ハ聖丸令ニテ八月廿六日以来輕業中ナリシ
業中ニテ原因ハ麻疹ニ基クモノニテ其ノ病根ハ既ニ兵學校入校以前
中学校在学中ニテ兵學校体格試驗前ニテ全治シ其ノ後

昨年六學校在接中而発せモ夏休暇間際ナリシヲ以テ學校ヲ診察受
 カルコトナリ歸省后療治平癒セシガ今回見學等ニテ過度ニ身体ヲ勞
 セシ為メ遂ニ要九冷ヲ惹起セルモノ如シ
 之ヲ以テ見ルニ中學校時代生徒ノ風儀取締ニ関シ更ニ一層ノ
 嚴密ナル監視ヲ要スルト同時ニ入校前學校長ノ證明並ニ体格檢
 査ニ関シテモ一層ノ注意ヲ要スルモノト認ム
 候補生受診者ノ状況ハ右表ニ示ス如シ

場 所	日 附	浅間	笠置
		船員九〇	船員六〇
竹 佐	20	3	4
	21	3	4
	22	3	4
	23	3	4
長 崎	24	3	4
	25	2	5
中 海 航	26	3	6
	27	3	8
舞 鶴	28	3	8
	29	3	8
中 海 航	30	3	10
	31	3	11
大 湊	1	3	9
	2	2	6
大 室	3	2	6
	4	4	5
中 海 航	5	4	5
	6	3	6
津	7	3	5
	8	3	5
	9	3	5
	10	3	5
	11	3	5
	12	2	4
	13	2	4
	14	2	4
中 海 航	15	3	4
	16	3	3

乗艦後第三回、体量ヲ檢セシニ其結果左如シ

人 員	浅 間		笠 置	
	前 回	今 回	前 回	今 回
八 八		八 七	五 九	五 九

十、見學

各寄港地ニ於テ候補生、見學老元箇所左如シ

平均体量前々回 上比較	平均体量前四 上比較	一人平均体量	個人最小体量	個人最大体量
	増、三六	一五、一七四	一二、五〇〇	二〇、五五〇
増、四五九	増、一一三	一五、三八七	一二、八〇〇	二〇、七五〇
	増、一七二	一五、二九三	一三、一五〇	一八、六五〇
増、〇一〇	減、一六二	一五、一三八	一二、九二〇	一八、〇〇〇

寄港地 名	出帆又ハ 上陸時刻	帰船若ハ 陸送時刻	汽車(汽船) 出發時刻	汽車(汽船) 到着時刻	記 事
佐世保 第一日	午後一時 上陸	午後八時 帰船			山田水滌地見學、終リ入場上陸
全 第二日	午前九時 上陸	午後七時 半帰船			午出帆時、集合ニ候、船中、中將知港事、 久須保水道ニ對シテ、諸君、了、終リ、布、段、地、之、夏、 三分、集、久、須、保、水道、及、大、船、城、見、學、午、前、一、時、頃、 帰、著、敷、設、隊、及、修、理、之、場、見、學、終、リ、入、場、散、 止、歩、ヲ、許、ス
					午、前、九、時、出、帆、佐、世、保、鎮、中、將、長、官、到、不、了、 終、リ、鎮、中、將、長、官、連、署、村、長、官、病、院、監、獄、 軍、法、會、談、會、館、水、道、科、水、雷、國、布、設、隊、 午、在、港、務、部、測、量、部、海、兵、團、自、立、隊、 入、場

十一、教育實施

室蘭	全 第二日	全 第二日	大 第一日	全 第二日	舞 第一日	長 崎	全 第二日
出 午前八時 船	出 午前八時 船	出 午前七時 船	出 午前七時 船	出 午前七時 船	上 陸	上 陸	上 陸
帰 船	帰 午前十時 船	帰 午前七時 船	帰 午前七時 船	帰 午前七時 船	帰 午後八時 船	帰 午前十時 船	帰 午後八時 船
室蘭制水網所見学終了市中散歩	午前八時出船を機に旗隊演習、花火、射撃等、上村五郎、岡田長官、前原、佐々木、佐藤、藤原、松本、見学、上、飯野、原、神、田、長、官、訓、示、及、機、関、合、作、の、説、明、等、演、説、に、相、模、範、的、高、橋、少、佐、戦、門、射、撃、手、諸、君、	大平、京、治、元、銃、戦、門、射、撃、手、野、砲、射、撃、手、見、学	午前、旗、隊、隊、編、隊、戦、門、射、撃、手、見、学、午後、要、港、部、見、学、銃、子、入、場、シ、許、ス	午前、舞、鶴、丸、の、備、用、之、候、補、生、ヲ、夫、橋、立、見、物、七、三、	上、陸、鎮、守、官、集、集、片、岡、舞、鶴、鎮、守、官、長、官、訓、示、ヲ、終、了、シ、後、水、雷、團、測、量、隊、演、習、等、演、説、に、相、模、範、的、症、場、海、女、局、見、学、上、入、場、ヲ、許、ス	三、菱、造、形、所、見、学、午、食、後、入、湯、上、陸、ヲ、許、シ、六、時、帰、船、を、以、て、室、置、屋、補、生、小、笠、原、九、郎、向、俣、補、生、沖、繩、丸、見、学	午前、新、報、漢、文、之、附、隨、先、生、室、置、屋、内、見、学、午、後、至、午、集、會、所、演、習、長、官、訓、示、見、学、終、了、入、湯、後、

九

0458

候補生練習教育ハ豫定計画ニ從ヒ着々実施シテアリ今其ノ實地教
育ニシテ重キモノヲ舉グルハ如シ

伊勢大廟參拜ハ候補生ヲシテ莊嚴言フカナル神前ニ拜禮シテ益々御
國體ニ關スル觀念ヲ增加セシメ尽忠報國ノ念ヲ一層深カラシムルモト認

ム

精神教育ニ關シテハ各軍港寄港際親シク英姿颯々タル各司令長官
威風ニ接シ其謹嚴懇篤ナル訓示ヲ受ケタルトハ独リ精神上多大ノ感

想ヲ興ヘタルニシテ艦務ノ實習ニ關シテモ裨益甚大ナルヲ信ジテ

疑ハズ尚大湊ニ於テ第一艦隊ニ會合シ六隻ノ堅艦ト水雷戰隊トが嚴
然トシテ浮ヘル壯觀場裏ニ於テ我海軍ノ精銳ヲ旗艦薩摩守ノ甲板

上上村司令長官與ニシテ訓示ハ今後海上ニ活躍スルニ一層ノ元氣ヲ發
揮シ候補生ノ修養上得タル所大ナルヲ信ス

右外司令官自ラ屢々講話ヲシテ候補生ノ教示所アリ多少精神上
感化ヲ及ボストコロアリト信ス

實地見學ニ關シテ各軍港要港ニ於ケル海軍ノ諸設備ヲ見學シ軍
事上ノ智識ヲ知得セル所少カラス殊ニ大湊ニ於テ第一艦隊ノ施行
也編隊戰鬥射撃ヲ實見セルトハ洵ニ得難キ機會ニ遭遇シ多大
ノ利益ヲ得タリト信ス

又大湊に於て練習艦隊、兵員が時日、猶豫キ為ノ兩ヨリ冒シテ連日大平
原ニ於テ施行セル小銃戰鬥射撃及野砲射撃ヲ早朝ヨリ暮景ヲテ
見學セルト、獨リ砲術ニ関シ少ナカラン經驗ヲ得タルニテハ心身、鍛練上
得ル所アリシ信ニ疑ハス
又長崎ニ於ケル臨時、寄港ト合地ニ於テ三菱造船所ハ、エキス（バトン）タルク
並ニ電線敷設船小笠原丸沖繩丸ヲ見學セル機ヲ得、固然特殊、
知識ヲ得テ將來ノ参考上得ル所大ナリトス
實地習得セルモ、内砲術ニ関シ射撃前テ一層懇篤ニ實地ニキ
教育セリ即チ砲、操法、指揮法ハ勿論縮射、彈射、外膛砲射撃
ヲ勵行シ長崎ヨリ舞鶴ニ回航、途次、如キ兩艦對抗陣、形ヲ作り外
膛砲、各個射撃及戰鬥射撃ヲ實施シ良好結果ヲ收メタリ尚
室蘭ヨリ津、回航、途次之ヲ行フ豫定アリモ連日、險悪ト天候ト降
雨ニ其機ヲ得サリシガ砲、操法砲名指揮其他机上射撃演習
ノ勵行ニ得タル所大ナリト信ス又鎮海ニ於ケル各種、教練射撃ヲ
實見セルト大湊ニ於テ編隊戰鬥射撃ヲ見學セルト、單艦戰鬥
射撃ニ於テ第一艦隊中最優、成績ヲ舉ゲル相模砲術長高橋少
佐、該射撃ニ関シ講話ト相待テ射撃上多大、教訓ヲ與ヘテ而シテ伊
勢力灣ニ於テ艦砲射撃、發砲、状況砲火、指揮ニキ相當ノ概念
ト經驗トヲ與ヘテト信ス

航海術(蘭)と云ふ舞鶴より大湊室蘭を経て津に至ル航海連日險悪ナル天候ニテ雨霧四周ヲ閉シ視界少キ海上ニ於テ行船上周知ナル注意ト最密ニ警戒ヲ加ハサルベカラサル下ヲモ知得タルハク風壓潮流等ヲ顧慮シ船位ノ測定針路ノ決定ニ精密ノ注意ヲ要ス下ヲモ知得セラルヤシ又伊勢灣ノニ於テ施行セシ旋面圍測定、防力測定モ候補生自ラ之ヲ行ヒ將來ノ参考トナルベキモノタカカリト信ス更ニ定期演習ニ於テ行ハル哨戒配備艦載水雷艇襲撃等特別掃海各種ノ應急作業ハ候補生ノ教育上多大ノ教訓ヲ與フタリ以上ノ如ク諸種ノ機會ヲ捕テ實地ニシテ教育ヲ怠ラサルモ只遺憾トスル所ハ碇泊日数少ク且ツ陸上見學ノ為メ殆んど其全部ノ費スル故ニ碇泊中申極當直勤務ヲ習ハスル機會之乏キ下是ナリ

今鎮海出發後ヨリ横須賀大湊當日止行ハル重ク實地作業ノ種類ヲ生手シバ在如シ

運	一 汽艇指揮法 二 ケツチアノカー搬出 三 司令塔内操航
航海術	一 針路法 二 測深法並ニ其利用法 三 船位ノ測定法 四 旋面圍測定法 五 防力測定法

砲		術	
一、編隊戰鬥射撃 (軍地見字)	二、艦砲射撃 (艦補生)	三、機砲射撃 (左)	四、外艦砲射撃 (左)
五、縮射陣射撃 (左)	六、机上射撃 (管習) (左)	七、小銃戰鬥射撃 (軍地見字)	八、野砲射撃 (左)
九、戰鬥射撃講話	一〇、砲具交換	水雷術	
一、夜間龍衣撃		二、特別掃海	
一、汽機機使用法		二、煙突破損應急修習法	

若し夫、伊勢力博、在泊中一日、閑ヲ得テ、施行セ、陸上運動會、如キ、連日、多忙ナル、艦務ニ追ハル、兵員ヲシテ、英氣ヲ養ヒ、神氣爽快ヲシ、慰心、安ヲ與ヘ、テ、

殊ニ候、補生ニ於テ、終日、餘念ナシ、快遊シ、心身、新ナルヲ、覺ヘ、タルカ、如シ

十二、各寄港地ニ於テ、歡迎

一、各寄港地ニ於テ、物品等、寄贈リ、受ケ、タルモノ、在、如シ

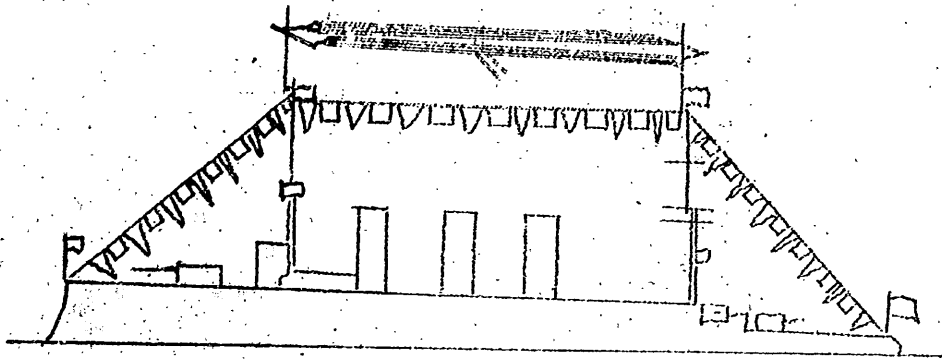
二、各寄港地に於て招待する慶賀の形式

寄港地名	寄贈品名	寄贈者名	慶賀者
津	湯打 浅草、五〇〇枚 釜置、四〇枚	津市長	両艦兵員へ
佐世保	カステイフ 二十箱 カイター 三十打	佐世保水交士社長 男爵附出羽中将	両艦候補生以上士官 一同

寄港地名	招待者	招待する形式	月月種類	方法
寄港	招待者	招待する形式	月月種類	方法
竹敷	山田司令官	司令官、幕僚、艦長 両艦主佐、皆守官	八月九日 晩餐	水交士社に於て午後七時より
佐世保	出羽司令官	司令官、幕僚、艦長 両艦士官室、士官候補生室より各一人	八月廿三日 晩餐	長官邸に於て午後七時より
長崎	岩崎男爵	司令官、幕僚、艦長	八月廿日 晩餐	清國駐日海軍少将、長官、幕僚、艦長、士官、兵員、水交士社に於て午後七時より
舞鶴	水交士社長 男爵附 片岡中将	両艦水交士社長 (或は少佐)	八月廿日 懇話會	水交士社に於て午後七時より
大湊	第艦隊司令官 上村中将	司令官、幕僚、艦長	九月二日 立食	水交士社に於て午後七時より

十三 見聞並に實験事項

一 英艦、滿艦飾法



管ヲ垂直線ヲ大橋頂ヨリ后方斜ニ張リタル時代ニ英艦ハ其ノ長流ヲ前橋頭ニ掲ケ居リシガ今又横架式ヲ採用スルニ至リシ以來旗流掲揚之儀ニ更ニ変更ヲ行フトツプマストヘツトツプマスト見做シトツプマストト上部ニアルマストハ單ニ無線電信用ノ格ニシテモシテマストヨリ度外視シ居ルモノ也シ且舊ニ砲施行ノ際旗章ヲトツプマストニ掲グマストヲ置キテ今則長崎在泊中英艦ノ滿艦飾法ヲ見テ愈々トツプマストヘツトツプマストトツプマストヲ推定スルニ至リ

二、回轉數ニ速力測定

回轉數ニ速力測定ハ本航海中絶々不實驗セカ測程機 指針ハ
屢々實際ノ速力ヨリ多キナリ又時トシテ過小ナルヲテ當中ニ正確ナ
ク不能カリシニ係ラス回轉數ニ依ル速力ノ測定ハ最モ確實ナラ覺ハ
三、假設陸上無線電信所ノ設置 附小型無線電信機ノ必要

伊勢灣寄港ノ際艦砲射撃ヲ回圈測定等ノ為メ出動シテ泊地ヲ
去ルト多キニナラズ在泊中ト雖モ陸上ノ交通敏活ナルヲ以テ陸上ニ假
設無線電信所ヲ設置シ郵便電信局等ト連絡シ電報ノ發受其
他諸種ノ用務ニ利用シ非常ニ便宜ヲ得タリ今後艦型増大シ
艦隊ニ於テ隻數増加スニ從ヒ廣大ナル灣内於テ泊地ハ益々陸上
ヨリ遠隔充ニ至ルベク此ノ場合ニ於テ如上ノ臨時の電信所ノ設置
ヲ要スルコト益々多カルベキヲ以テ此ノ目的ニ添ハシカ為メ輕便ナル小
型無線電信機ヲ計畫シ各艦隊ニ備フルヲ便宜トス又此ノ無線
電信機ハ艦載水雷艇ニモ利用シ得ル如クナシ置カズ哨艇其
他ノ任務上大ナル便宜アリ